

ラシーヌ作「ベレニス」

200223

幕	場	場面	内容	頁	主な登場人物				その他		
第一幕 23頁	1	3	アンティオキスは、ベレニスへの愛を、5年間隠してきたが、告白して去る決意をしている。皇帝ティチユスの父ヴェスパジアン帝を悼む喪が明けたのでベレニスは皇后になるはずと、アルザスから報告を受ける。	171	180				アンティ オキス	アル ザス	
		4	ベレニスは、友人アンティオキスと久し振りに会い喜ぶが、ローマ皇帝の后になるその日に愛を告白されかつ永遠の別れを告げられ、辛い。アンティオキスは、恋敵のティチユスから離れ、逃れたいとも言う。	181	190			ペレ ニス	フェ ニス	アンティ オキス	
		5	ベレニスは、アンティオキスを引き留めるつもりはない。フェニスから、ローマ人達はベレニスを結婚相手とみていない、と警告されるが上の空。それどころか、ティチユスへの想いが一層高まっていく。	191	194			ペレ ニス	フェ ニス		
第二幕 24頁	1	2	ティチユスは、ローマ人達はベレニスを皇后に望んでいないという、ポーランの報告に従い、帝国への「義務」を優先する。明日ベレニスを出発させ、アンティオキスにオリエントの地まで、お供を頼むことにする。	195	209	ポー ラン	ティ チユス				
	3	4	ベレニスは、ティチユスから愛の誓いの言葉を告白されるが、言い方が冷たく不安になる。自分が恩知らずとも言うし、暗に別れる話もするし、ベレニスは、不安が高まる。	210	215	ポー ラン	ティ チユス	ペレ ニス	フェ ニス		
		5	ベレニスは、ティチユスが自分に対する態度をはっきりさせないで急に立ち去るので驚く。しかし、我々の恋をローマから守ると言っていた言葉を想い出して、早まって不運な女と決めるのはよすことにする。	216	219			ペレ ニス	フェ ニス		
第三幕 20頁	1	ベレニスは、 ティチユスに 頼まれた アンティオキスの 言葉を信じない	ティチユスは、今日出発する予定のアンティオキスを引き留めて、ベレニスと今日別れる、と伝える。明日オリエントに出発しないと、ベレニスは怒り狂った国民からの屈辱を受けることになる、という。それを避けたいこと、そして、ティチユスの代わりに別れを伝えて、別れを受けて欲しいという。アンティオキスには、与える領土を持って凱旋し、隣国同士ベレニスとの友情をもって過ごして欲しい。	220	226		ティ チユス			アンティ オキス	アル ザス
	2		アンティオキスは、ティチユスがベレニスを自分に手渡すというので喜ぶが、甘くはないだろう。ティチユスから頼まれたことだけやろうと考えるが、何もするのはやめようとも考え、想いあぐねる。	227	232					アンティ オキス	アル ザス
	3		4	ベレニスはアンティオキスから、ローマ市民から屈辱を受けることになるので別れる必要がある、これはティチユスの命令であると言われる。振った男の言葉なので信じないし絶交するとも言われる。	233	240			ペレ ニス	フェ ニス	アンティ オキス
第四幕 22頁	1	ティチユスは、 ベレニスが 別れる理由を 理解しないので、 一層苦しむ	ベレニスは、召使のフェニスに使いを出し、ティチユスと会うことになった。ティチユスは、私の「義務」は、ベレニスの甘く切ない眼差しに勝るのだろうか、皇帝の地位を捨てるべきか、ベレニスとの絆を断つべきか、迷う。	241	247	ポー ラン	ティ チユス	ペレ ニス	フェ ニス		
	5		ティチユスはベレニスに、出会った頃は自由だったが、今は皇帝の義務に縛られている、と理解を求める。ベレニスは、それを理解することなく、恨み言を言い、出て行くという。ティチユスは、ベレニスの苦しみに耐えられなくなり、発言を撤回し、愛を告げる。しかし、ベレニスは、曖昧なティチユスに、別れを告げる。	248	257		ティ チユス	ペレ ニス			
	6		8	愛を捨てられないティチユスは、残忍非道な自分の発言に苦しみ、ペレニスの自殺の心配をする。アンティオキスは、ティチユスに、ベレニスが救いを求めていると言うが、ティチユスも同様の状況である。ティチユスは義務を果たしに護民官達に会いに行き、アンティオキスには、ベレニスに会いに行くよう言う。	258	263	ポー ラン	ティ チユス			アンティ オキス
第五幕 18頁	1	ティチユスは 別れない選択 をする	アンティオキスは、アルザスから、ベレニスがローマを捨て今日出発する、と報告を受ける。そして、ティチユスは、ローマ市民、元老院、護民官達から捧げられた数々の称号により、自由が縛られている。しかし、ティチユスは、ベレニスのことが心残りでも苦しみが終わらない、と言う。	264	268		ティ チユス			アンティ オキス	アル ザス
	5		6	ティチユスは、ベレニスに今日発たずに留まるよう言う。ベレニスの外的怒りを聞くにつけ、愛の苦しみの絶頂に来て耐えられず、ベレニスのために皇帝の位を捨てる、と言う。	269	277		ティ チユス	ペレ ニス	フェ ニス	
		7	ベレニスは二人に 別れを告げる	アンティオキスは、ティチユスにベレニスを愛していたことを告げて、死出の旅に出る、と言う。ベレニスは、ティチユスに自分たちは愛しながら別れるのだから、自殺はしないと伝える。アンティオキスに対しても、私達を見習って、恋も苦しきも大事にして欲しいと言い、別れを告げる。	278	282		ティ チユス	ペレ ニス		アンティ オキス

(注)紙の音がするので、開幕中は、このA4紙をしまってください。